

普段無口な鬼瀬さんと
今日は初デート！

…のはずが

鬼瀬さんによって
僕の体はいきなり
親指くらいまで
縮められてしまった

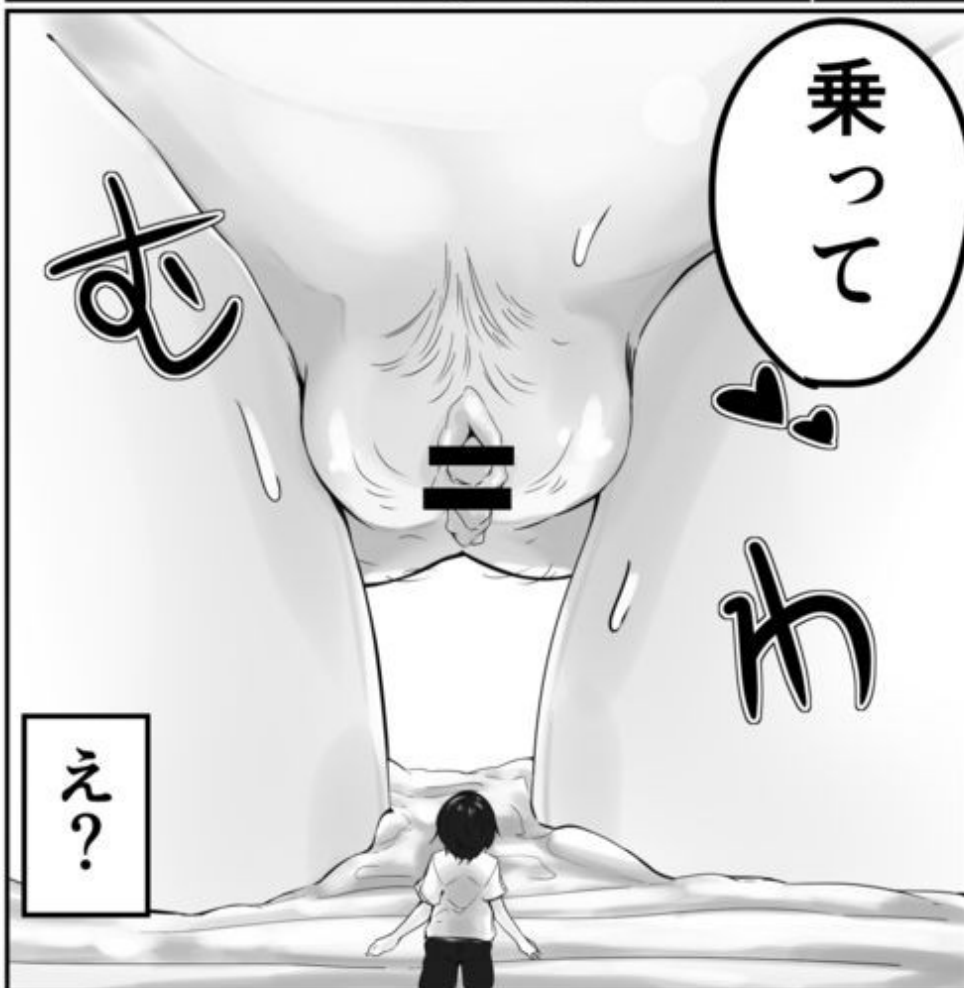


あの…
鬼瀬さんがサイズフェチっていうのは
以前少し聞いたけど
今日はデートで
出かける予定だよな？
こんな小さくされたら
街中で鬼瀬さんに
踏み潰されるかもしれないし
まともにデートできないよ？

いや…
ちゃんとデート…
できるよ？



ズ
ズ



• 1



鬼瀬さんの
巨大な秘部が
視界を覆うのみで

顔すら
見えない……

返答は
得られなかった

じょ
冗談だよな？

顔を上げて
聞いてみても

うわっ！

まだ恐がってないのかな…
じゃあもつと小さく

私がそばに居るだけで
本能的に恐がるくらい
小さくしないと

鬼瀬さんって一緒にいても
本当に何考えてるか
わからないなあ

それにしても
パンツだけでデカイ…
布の海みたいだ

布の海みたいだ

などと
思っていると

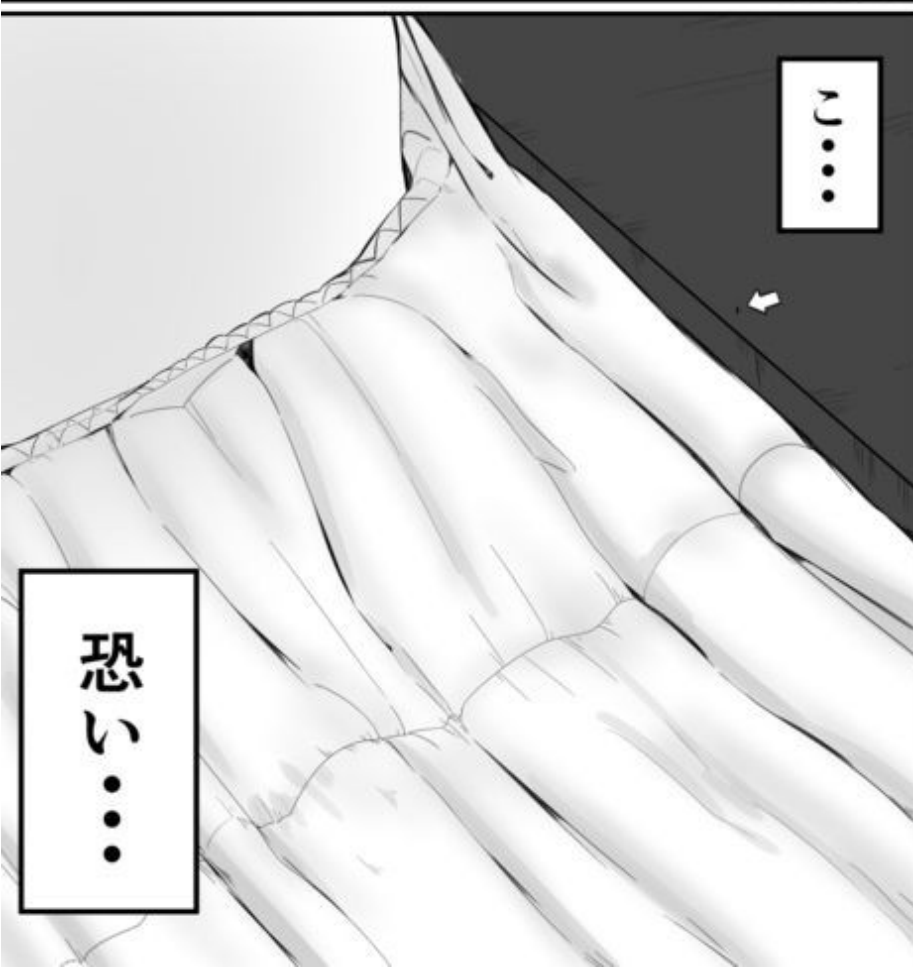
なんだか
恐ろしいことを
つぶやきながら
更にめちやくちや
小さくされて
しまった

そうして

Two pieces of torn paper are shown. The left piece has the text "2000" and "2000" written on it. The right piece has the text "2000" and "2000" written on it.



ちよっと い
小さくしすぎ
ちゃったかも……



怖い……



乗って♡

これが
鬼瀬さん？



う

けれど
もう鬼瀬さんの
言う通りにしないと

今度は
乗ってくれたね

イイ子
イイ子
イイ子♡

そう思ってしまった
時にはすでに体が
動いていて

鬼瀬さんの
甘い香りと汗やおしっこの
匂いが充滿した

とてもジメツとした
空間で

「デート」が終わるまでの数時間
すさまじい歩行の衝撃に
必死に耐えるしかなかった

大木のように
太くなった陰毛にしがみつきながら

図書館とかどう？

じゃあデート
行こっか

はぁ♡♡♡

後で聞いたところ
僕はこの時
千分の一まで縮められていた
らしく